中1 社会 歴史 中世 一問一答（20問）　版E

なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　日づけ：＿＿＿＿＿＿

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 鎌倉幕府が荘園や公領ごとに置いた、年貢の取り立てや土地の管理を行う役職を何というか

(2) 源頼朝の弟で、壇ノ浦の戦いで平氏をほろぼした人物はだれか

(3) 後鳥羽上皇が、幕府をたおそうとして兵をあげ、幕府軍に敗れた争いを何というか

(4) 鎌倉幕府の将軍と主従関係を結んだ武士を何というか

(5) 鎌倉幕府を開いた将軍の妻で、夫の死後に幕府を支え、「尼将軍」とよばれた人物はだれか

(6) 日蓮が開いた、「南無妙法蓮華経」と題目を唱えれば人も国も救われると説いた仏教を何というか

(7) モンゴル帝国の第5代皇帝で、国号を元と改め、日本に服属を求めて2度攻めてきた人物はだれか

(8) 1297年に、生活に苦しむ武士を救うため、幕府が借金の帳消しなどを命じた法令を何というか

(9) 快慶らとともに、東大寺南大門の金剛力士像をつくった仏師はだれか

(10) 兼好法師が、社会や人生について思ったことを書きつづった随筆を何というか

(11) 建武の新政に不満を持つ武士を率いて京都に新しい天皇を立て、征夷大将軍となって幕府を開いた人物はだれか

(12) 足利義満が始めた明との貿易で、正式な貿易船に勘合という証明書を持たせたものを何というか

(13) 15世紀に尚氏が沖縄島を統一して建てた、首里を都とする国を何というか

(14) 蝦夷地（北海道）に住み、狩りや漁、交易を行っていた人々を何というか

(15) 室町時代に、馬を使って物資を運んだ運送業者を何というか

(16) 応仁の乱が始まったのは西暦何年か

(17) 1485年に、山城国（京都府南部）の武士と農民が争う大名の軍を追い出し、8年間自治を行った一揆を何というか

(18) 能の合間に演じられた、民衆の生活などを題材にした喜劇を何というか

(19) たたみをしき、床の間やちがい棚を設けた、現在の和室のもとになった建築の様式を何というか

(20) 室町時代に、「一寸法師」や「浦島太郎」など、絵入りで民衆に親しまれた物語を何というか

中1 社会 歴史 中世 一問一答（20問）　版Eの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 鎌倉幕府が荘園や公領ごとに置いた、年貢の取り立てや土地の管理を行う役職を何というか　地頭

(2) 源頼朝の弟で、壇ノ浦の戦いで平氏をほろぼした人物はだれか　源義経

(3) 後鳥羽上皇が、幕府をたおそうとして兵をあげ、幕府軍に敗れた争いを何というか　承久の乱

(4) 鎌倉幕府の将軍と主従関係を結んだ武士を何というか　御家人

(5) 鎌倉幕府を開いた将軍の妻で、夫の死後に幕府を支え、「尼将軍」とよばれた人物はだれか　北条政子

(6) 日蓮が開いた、「南無妙法蓮華経」と題目を唱えれば人も国も救われると説いた仏教を何というか　日蓮宗（法華宗 でも正解）

(7) モンゴル帝国の第5代皇帝で、国号を元と改め、日本に服属を求めて2度攻めてきた人物はだれか　フビライ・ハン（フビライ・クビライ でも正解）

(8) 1297年に、生活に苦しむ武士を救うため、幕府が借金の帳消しなどを命じた法令を何というか　永仁の徳政令（徳政令 でも正解）

(9) 快慶らとともに、東大寺南大門の金剛力士像をつくった仏師はだれか　運慶

(10) 兼好法師が、社会や人生について思ったことを書きつづった随筆を何というか　徒然草

(11) 建武の新政に不満を持つ武士を率いて京都に新しい天皇を立て、征夷大将軍となって幕府を開いた人物はだれか　足利尊氏

(12) 足利義満が始めた明との貿易で、正式な貿易船に勘合という証明書を持たせたものを何というか　勘合貿易（日明貿易 でも正解）

(13) 15世紀に尚氏が沖縄島を統一して建てた、首里を都とする国を何というか　琉球王国

(14) 蝦夷地（北海道）に住み、狩りや漁、交易を行っていた人々を何というか　アイヌ民族（アイヌ・アイヌの人々 でも正解）

(15) 室町時代に、馬を使って物資を運んだ運送業者を何というか　馬借

(16) 応仁の乱が始まったのは西暦何年か　1467年

(17) 1485年に、山城国（京都府南部）の武士と農民が争う大名の軍を追い出し、8年間自治を行った一揆を何というか　山城国一揆

(18) 能の合間に演じられた、民衆の生活などを題材にした喜劇を何というか　狂言

(19) たたみをしき、床の間やちがい棚を設けた、現在の和室のもとになった建築の様式を何というか　書院造

(20) 室町時代に、「一寸法師」や「浦島太郎」など、絵入りで民衆に親しまれた物語を何というか　御伽草子（お伽草子・おとぎ草子 でも正解）